



「音」を「楽しむ」と書いて「音楽」とはよく言われますが、当記事担当者は「音」に「楽しませていただいている」と思っているくらい“*No Music No Life*”です。そんな私が選ぶ当院の*No Music No Life*職員に、お勧めの「夏歌」を教えてくださいました。みな絶妙な選曲ですので聴いてみてください。引き続き自粛ムードが続く毎日ではありますが、音楽を聴いて「あの頃の夏」を思い浮かべ、ノスタルジーな気持ちに浸ったり、「これからの夏」を思い浮かべワクワクしてみてください！

言語聴覚士 高橋里詩

★曲 / 青春おじさん
アーティスト / 中山うり

チャイナテイストたっぷりのテケテケなギターリフと変拍子が、ヤ・ミ・ツ・キ!夏空に吸い込まれるような爽快感です。ミュージックビデオを手掛けるのは、アニメーター土屋萌児(つちやほうじ)氏、カオスでドキワクな仕上がりに!全国民必聴の1曲です!



医師 佐野正浩

★曲 / 若者のすべて
アーティスト / フジファブリック

「ないかな ないよな きつとね
いないよな 会ったら言えるかな
まぶた閉じて浮かべているよ」

若者だったすべての人へ



医師 矢野博文

★曲 / BLUE LAGOON
アーティスト / 高中正義

高校生の頃から強く憧れ、30歳代前半になってやっと始められたスキューバダイビング。南の島々にも行きました。飛行機から見える珊瑚礁、その中にひときわ美しいブルーの水をたたえるラグーン。その光景はダイビングそのものよりも心に残っています。そこで高中正義の「BLUE LAGOON」を紹介します。高中正義は有名なジャズギタリストで、いま日本に居るのかさえ知りません。最初は「BLUELAGOON」という曲名に惹かれて聴き始めました。エレキギターの音を聴いていると飛行機から見たあの光景が蘇ります。この「BLUE LAGOON」に始まって、高中正義の曲はダイビングばかりでなく、キャンプ、釣り・・・と海へ出かけるときの定番となり、ふと気づくともう30年くらい一緒に海に遊びに行っています。



訪問介護員 塚本強

★曲 / 夏の終わりのハーモニー
アーティスト / 井上陽水・安全地帯

井上陽水と安全地帯による夏を代表する名曲です。歌詞は少し寂しげな内容ですが、ボーカルの2人が繰り出す“ハーモニー”はとても澄んでいて、暑い夏に聞いても、どこか涼しげな気持ちになれるお勧めの1曲です。

